



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1998~99年度 会長賞



国際ロータリークラブ会長 ジェームス L. レイシー

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基盤として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊敬されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活中常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリー雑誌月間

第549回 平成11年 4月 9日（金）

〔本日のプログラム〕

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. 国 歌 | 齊 唱 |
| 3. ロータリーソング
「それでこそロータリー」 | |
| 4. 「四つのテスト」唱和 | |
| 5. 食 | 事 |
| 6. 会長 の 時 間 | |
| 7. 幹 事 報 告 | |
| 8. 委 員 会・報 告 | |
| 9. 4 月 セレモニー | |
| 10. 点 | 鐘 |

次回予告
★ 4月16日（金）
会員卓話
浜田松太郎君

★ 4月23日（金）
クラブフォーラム

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30) 会長 加藤 仙之
 例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 福井 輝文
 事務局 宮崎県佐土原町大字下野河3887-17 幹事 吉田康一郎
 　　☎880-0212 会計 恒吉 正志
 　　☎&FAX0985-73-7170 会賛委員会 垂水 敏雄

第548回例会記録 (1999.4.2)

☆会長の時間

会長 加藤 仙之君

皆さん今は、今日は第548回の例会ですが恒例の観桜会を宝塔山にて開催いたしました。例年寒い日になりビールより焼酎の方に手が行く事が多かった様な記憶があります。

今日は皆さんの日頃の行いが良かったのか、夕方から雨の予報でありましたが曇ってはいますが、まだ雨の心配はなさそうでありますし、大変暖かい桜見となるようです。

宝塔山の桜はまだ三分咲きという所でしょうか、しかし全体的に眺めて見ますと八分咲きには見えて来ます、ライト、アップの準備もできました。

郡司親睦委員長さんのほうで用意して戴きました、焼き肉を囲んで濱田ロータリー財団委員長の乾杯の音頭で始めさせて戴きます。

皆さん、日頃の忙しさは忘れて、時間の許すかぎりご歓談戴き、会員相互の親睦を深めて戴きたいと思います。

☆幹事報告

幹事 吉田 康一郎君

今晚は観桜会ですので、例会変更及び休会通知、その他は週報にて報告致します。

1. 例会変更通知

① 4月5日(月)は「創立記念夜間例会の為、時間 19:00~
場所 バンドラ に変更
日向 RC

② 4月7日(水)は「観桜会」の為、
時間 12:30~
場所 南郷村 恋人の丘 に変更
日向中央RC

③ 4月14日(水)「社会奉仕作業」
の為、場所 粟山 に変更
日向中央RC

④ 4月27日(火)は「職場訪問」の
為、場所 美ヶ原トリークラブ に変更
日向東 RC

2. 4月号ロータリーの友レビューより 本地区(2730)分を紹介します。

P31 高鍋町(高鍋藩)は、古来より“文教の地”として知られ、上杉鷹山ゆかりの地
日向東RC 善積幹雄

P19 自分さえよければという今の時代に、たった4人から発足したクラブがすばらしい活動を行っていることを知り、心が温かくなりました。
日向市 中山美智代

竹林のはき出す風の寒さかな

鹿児島東南 植元敬一

霧はれて霧またかかる長城に
杜甫の嘆きの詩思うかな

鹿屋西 園田信男

☆出席報告

委員長代理 田村勝二君

会 員 数	26名
例会出席者	18名
出席率	69%
メールアップ者数	3名
修正出席率	81%
欠席者名	神宮寺、山本、宮原、鶴田、宮本

☆親睦委員会

委員長 郡司武俊君

皆様 今晚は

本日の観桜会沢山の参加、ありがとうございます。

少し肌寒いですが、この美しい桜の元、飲んで、食べて、大いに盛り上がり、親睦を深めたいと思います。

バーベキュー、飲み物等沢山用意しましたので、時間のゆるす限りごゆっくりお過しくださいませ。

☆ガバナーよりのメッセージ

地区内ロータリークラブ会員各位殿

本年度のR I国際大会は6月11日よりシンガポールに於いて開催されます事は既に御案内済みですが、昨日届きましたレイシー会長の書簡に拠りますと、20,000人の参加を予定している所3月末までの登録者数が12,080人と辛うじて半数を越える有様とかで、強い憂慮を示しておられます。

特に当地区の既登録者は僅かに13名に過ぎぬとの事で、最低250名は参加して欲しいとの要請を受けました。

大会本部では本来は3月末日を以て受付を締め切る予定でしたが、上のような事情ですので、締切日を4月30日まで延長することにして出来るだけ多数の会員その他の御出席をお待ちしたいと申してきております。

相変わらずの不景気風の中で会員の皆様方には常日頃なにかと御繁忙の事でしょうが、アジア地区で開催される国際大会はさほど頻繁ではありませんので、この地区に在住するロータリアンにとりましては折角の良い機会だと思われます。

私といたしましてもオン・トウ・シンガポール委員会の委員長としての責任が御座いますので、改めて皆様方にはお誘い合わせの上奮って御参加下さい様お願い致します。

頓首

平成11年3月31日

鮫島 哲也

☆社会の中の 密室育児

昭和32年3月26日 竹原 鳥子

親として子育ての責任はきちんと持つべきだと思うが、出産と同時に社会や人との触れ合いを望めない日々の積み重ねは、若い女性にとって我慢できない現実のようだ。

密室育児の不幸はそうした若い母親への「母となったのだから子供のために自分の欲望は我慢すべきだ」という、周りの考え方でじわりと若いママの心が病んでいく。弟や妹をおんぶしたり、世話したりの育児能力を身につける体験のない女性が、突然にママになり一日中子供と二人の生活環境になる。

すると急に人恋しくなったり、育児の不安からわが子に暴力を振るってしまうこともあると聞く。

少子化問題は深刻になるばかり。もっと現在の母親たちの声に耳を傾けて、家族ぐるみの子育て支援の方法をうみださないと、一層出産をちゅうちょする人が増えていくだろう。

今、省庁の垣根を超えた少子化対策がなされているが、最も活用できる場は地域の中にある保育所だと思う。児童の入所資格を広げ母親の就労の有無などは関係なく、本当の子育て施設としての機能発揮である。働いている女性も含め、生活実態に合った子育て支援は、行政側の財力投入、人材投入がなければ効果がない。

都会も地方も子供が少なくなって、休園や廃園になる幼稚園や保育所の数は年々増え、それが小学校にも影響している。

零歳児から小学二年生ごろまでは、優しい大人の手による保護が大切である。

学童保育がなく仕事をやめざるを得ない女性もいる。

地方になるほど学童保育はない。学童保育を求めて転地する家族もいる。また、夜働く母親に代わって子供達だけで過ごす家庭の姿もある。

主婦である女性もときには、わが子から開放されて社会参加したいのは当然。

自分で友人を作る能力を豊かに持ち合わせていない人もいる。

孤独の闇は深い。

男女共同参画社会の実現で、男女平等の意識作りやあらゆる分野での男女共同参画の推進がなされ、男女の仕事と家庭両立支援が盛んにうたわれている。

子育ての「密室育児」は、姿を変えることなく続いている現実である。もっと窓を開けた楽しい育児は、一時しのぎのものではなく、半永久的に生きていくいろいろな基準の見直し、施設機能の拡大が大切ではと思う。

子供の成長は時を待たない。また、大人より勘が働く。育つ中の快い思い出は、幾つもの金貨の袋を持ったのと同じく長い人生を歩く。

個の力ではどうにもならない子育て時代を認識して、育つ環境を考えたいと思う。